

甲府ユネスコ協会 令和7年度事業 世界遺産講演会

甲府ユネスコ協会 会長 広瀬集一

日時：令和8(2026)年1月18日(日) 14時開会後、1時間

場所：甲府市総合市民会館 講義室

講師：一級建築士 久保田要 APEC Architect(JP-00164)

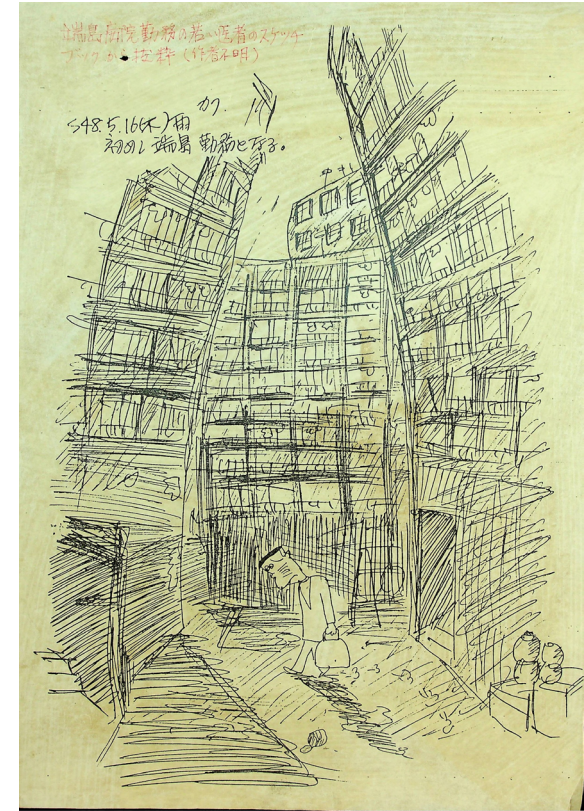
演 題

軍艦島(端島)を52年前(閉山直後1974年)に実測調査

「基礎研究資料・再検証(デジタル化)を読み解き、新発見と再考察～」

風化され消えゆく軍艦島から、造られてきた過程が見えてくる

「世界の記憶」へは、可能か。



初めての端島勤務医・漫画家-福地泡介の作?!

何故・いま・この山梨で・軍艦島なのか？ 都市構造を考えること！

薪⇒炭⇒**石炭**⇒**石油**⇒**原子力**⇒**再生エネルギー**⇒…エネルギー政策により、人・都市は浮遊し移住する。

軍艦島(端島)を52年前(閉山直後1974年)に実測調査記録

「基礎研究資料・再検証(デジタル化)を読み解き、新発見と再考察～」

1 都市が消えた！： 5,300人の暮らした都市が消え5年目。1979(昭和54)年12月10日科学ドキュメント[風化する軍艦島]

NHK総合・DVD閉山から5年

2 歴史遺産 P3： 軍艦島(端島)における高密度集合住宅の記録遺産としての価値

2-1 世界遺産はオリジナリティーが問われる。

2-2 軍艦島実測調査基礎研究資料は役立っているのか。

2-3 35mmフィルム約20,000枚、手書き図面282枚、

卒論集38/51冊のデジタル化の完了と、その行方は・・・。

3 記録遺産 P12： 風化により実態が消えゆくなか、記録が語り掛ける発見と検証

3-1 高密度集合住宅の集積の始まり

旧14号棟「1908(明治40)年初頭」木造コンクリート混構造から

30号棟鉄筋コンクリート造7階建て「1916(大正5)年」へのプロセスと、

現代的評価 (TBS NEWS DIG20251月3日特番)より

3-2 LEGACY(歴史の中の知恵と工夫：技術遺産)は、どう伝えられるのか…「世界の記憶」へ

4 歴史の共有P28： これから軍艦島(端島)の歴史遺産を資産としてどう共有していくのか。 国境を越えて♥

・交響曲「軍艦島(端島)」作曲の依頼をとおして・・・国境を超える

作曲家・野武大誠(のたけひろなり)氏(※)による

交響曲「軍艦島(端島)」序曲(イントロダクション)・五弦バイオリン生演奏

※野武大誠：世界遺産富士山「創作舞台コノハナナサクヤヒメ」作曲

5 追) 軍艦島・もう一つ見方・・・P30

建築と設備は生活に切っても切り離せない、現代建築はどの様に変化していくのだろう。

